

## ② 地理情報と地図

教 p. 10~15

## 1 地理情報と現代の地図

教 p. 10~11

## 情報通信技術の発達と地図

<sup>1</sup> \_\_\_\_\_ (遠隔探査) は人工衛星を利用し、同時刻・広範囲の大気や地表の様子を把握する技術である。

<sup>2</sup> \_\_\_\_\_ (全地球測位システム) はカーナビゲーションシステムや、人々の流動の把握、地図作成など幅広く活用されている。

## 社会での活用が進む地理情報

<sup>3</sup> \_\_\_\_\_ (地理情報システム) は地理情報を加工し、地図上に重ね合わせて表示することが可能であり、企業活動、都市計画や防災など幅広い用途で活用されている。

## 2 世界観の変化とさまざまな時代の地図

教 p. 12~13

## 古代・中世の世界観と世界地図

現存する最古の地図は、地球が <sup>4</sup> \_\_\_\_\_ 状だという世界観をもつ。その後、古代ギリシャで地球が球体であるという学説が提唱されると、エラトステネスや <sup>5</sup> \_\_\_\_\_ が経線と緯線のえがかれた世界地図を作成した。中世ヨーロッパではキリスト教の世界観により、聖地エルサレムが世界の中央に位置する <sup>6</sup> \_\_\_\_\_ が作成された。

## 大航海時代以降の世界観と世界地図

大航海時代の1492年に <sup>7</sup> \_\_\_\_\_ が北アメリカに到達し、地図に南北アメリカ大陸がえがかれ、16世紀のオルテリウスや <sup>8</sup> \_\_\_\_\_ など、世界地図は正確さを増していった。

## 3 さまざまな種類の世界地図

教 p. 14~15

## 地球を平面に表現する工夫

どんな <sup>9</sup> \_\_\_\_\_ (図法) でも球面の情報をすべて正しく表現することは不可能である。

## 面積・角度・距離が正しい地図

・面積が正しい地図 (正積図法) : 例 <sup>10</sup> \_\_\_\_\_ 図法

→分布図などの統計地図に適する。

・角度が正しい地図 (正角図法) : 例 <sup>11</sup> \_\_\_\_\_ 図法

→緯線と経線が直交し、経線と任意の直線がつくる角度がすべて正しい。

二つの地点を直線で結んだ経路は <sup>12</sup> \_\_\_\_\_ 航路のため、航海図として利用されるが、

<sup>13</sup> \_\_\_\_\_ になるほど距離や面積が拡大してしまう。

・距離が正しい地図 (正距図法) : 例 <sup>14</sup> \_\_\_\_\_ 図法

→中心からの距離と方位が正しく、地図の中心点と任意の地点を結ぶ直線は最短経路 (<sup>15</sup> \_\_\_\_\_ 航路) のため、航空図などに利用される。